

首里城公園のフェイスブックがスタート！首里城公園の旬な情報から、イベントの舞台裏、さらには琉球王国にまつわる昔ばなし(トリビア)まで・・・楽しく、わかりやすくお届けしてまいります。

ぜひ、いいね！シェア！をお願いします。



首里城公園 SHURIJO CASTLE PARK

【開園時間】

期 間	無料区域	有料区域
4月～6月、10月～11月	8:00～19:30	8:30～19:00
7月～9月	8:00～20:30	8:30～20:00
12月～3月	8:00～18:30	8:30～18:00

※入館券販売締切は閉館時間の30分前

【休館日】

7月の第一水曜日とその翌日

【入館料金】

	大人	中人(高校生)	小人(小・中学生)
一般料金	820円	620円	310円
団体料金	660円	490円	250円
年間パスポート	1,640円	1,240円	620円

- ・団体は20名様以上
- ・モノレール(ゆいレール)のフリー乗車券(一日券・二日券)をご利用中のお客様は、首里城公園券売所窓口にて乗車券の提示により、団体料金の適用となります。
- ※フリー乗車券の有効期限内において、一枚につきお一人様一回限りの割引となります。

お得! 首里城公園年間パスポート

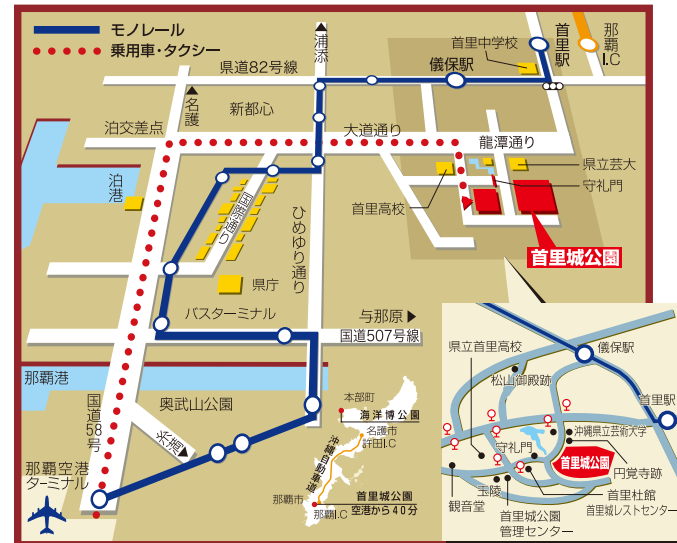
入館料2回分の料金で、1年間何度でも入館できるお得なパスポート。

更新特典

- ① 首里城公園直営店のオリジナル商品がパスポート提示で10%割引!!
- ② 抽選で1万円分の商品券を進呈!



【アクセス】



※駐車場に限りがありますので、バス、タクシー、モノレール等の公共交通機関をご利用ください。



題字：御城だより

御城(ウグシク)とは首里城の敬称。首里では今でも親しみを込め、この呼び方が使われています。

表紙：首里森御嶽(すいむいうたき)

首里森御嶽は城内にある礼拝所のひとつで「琉球開闢(かいびやく)神話」によれば、神が作られた聖地とされ、首里城発祥の地といわれている。

御城だより Vol.2 冬号 季刊誌

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町1-2

TEL: 098-886-2020

【発行日】2018年2月1日

【編集・発行】国営沖縄記念公園(首里城地区)、県営首里城公園
指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団

URL <http://oki-park.jp/shurijo/>

御城だより

GUSHIKUDAYORI

2018
2



“琉球の宝”を次の世代へ
首里城公園友の会とイヌマキ(チャーギ)育樹祭

平成29年度 百人御物参(ももそおものまいり)

琉球の安泰を司る、神女の世界

首里城公園企画展 琉球王国のもよう～王国の技～

時代をつむぐ、琉球王国の逸品

Column 琉球を司る、3つの空間～王国の箱舟～



平成29年度 首里城公園

百人御物参

ももそおものまいり

首里城・内の世界「御内原」
秘められた女性達の
祭祀世界への扉がひらく。



Photo / 左掖門「俗称:暗シン御門(くらしんうじょう)」からの神女入場

百人御物参とは

百人御物参は、神女たちが首里城及び周辺の聖域をお参りする行事であり、往時、類似の行事を含めると、年間に6回程度行われていました。御嶽では国王の長寿とその子孫の繁栄、航海安全、国土の安全、五穀豊穡を祈願します。このような御嶽や聖域を巡拝する行事は、首里城だけでなく、琉球全土で行われていました。巡拝する一行は、城外にある聞得大君御殿(きこえおおぎみうどうん)や首里城内(しゅりどうんち)といった王府の祭祀施設へお参りしました。その後、首里城の東側にある継世門(けいせいもん)から登城し、正殿にある火の神や城内の御嶽を巡り、再び城外の重要な御嶽を巡拝して終わります。百人御物参において祭祀行事を司る神女たちは、正殿裏の女性だけの空間である御内原と、正殿表側の御庭などの空間を巡るため、この行事は首里城での表の世界と内の世界をつなぐ行事ともいえます。今回は、百人御物参の巡拝コースの一部を再現いたします。



琉球の祭祀儀礼

琉球には政治や外交とは別に、御嶽(うたぎ)や火の神(ひぬかん)を祀ることによって、国の安泰を祈る独自の祭祀システムがありました。その担い手である神女も、聞得大君(きこえおおぎみ)を頂点に組織化され、首里城を拠点に、宗教上の祭祀ネットワークが琉球全土に広がり、様々な年間行事が行われていました。現在の沖縄でも、その信仰や行事は継承されており、各地の個性的な祭祀行事や芸能のなかにその姿を見ることができます。



御内原おうちばら

御内原とは、国王やその親族・女官の生活や城内祭祀が営まれていた空間。琉球王国時代に首里城で行われた祭祀行事のひとつである「百人御物参」。琉球の女性たちによる祭祀世界をぜひご体感ください。

平成29年度 首里城公園

百人御物参

実施日 2018年 3月3日(土)・4日(日)

時間 1回目/12時00分~13時00分
2回目/15時00分~16時00分

場所 首里城正殿前御庭 ~下之御庭 ~京の内
※ 御庭での観覧は、入館料金が必要です。



時代をつむぐ 琉球王国の逸品

琉球王国 のもよう

～王国の技～

琉球王国時代に製作された漆芸品や染織衣裳、絵画、書跡、焼物等の美術工芸の数々。作品に描かれた「もよう」には時代に磨かれた職人達の「技」が宿る。

職人の技が息づく、美しい工芸品

琉球王国を支えた美術工芸品には、職人の技が息づいています。繊細に文様を彫りこむ沈金や緻密に描く箔絵、きらびやかな螺鈿等複数の技法がみられる漆芸品。色鮮やかな紅型や高度な技術で織られた首里の織物など、多種多様な染織衣裳。独特な技法で、高い技術を誇る職人たちが生み出す工芸品は、国王や王族の生活を豊かに彩り、首里城内で行われた年中行事や祭祀儀礼を華やかに飾りました。



◇朱漆花鳥獸箔絵椀

◇黄色地経緯緋衣裳（復元）平良敏子

独特な風土と時代が育む技

琉球の工芸品に様々な技術が育まれた背景には、中国・東南アジアとの貿易や朝貢など、周辺諸外国との交流や王府の機関として具置奉行所が設置され、製作工程に合わせて技術者や絵師などの専門職が任命されていたこと、さらに宮古・八重山地方や久米島から織物を税として納めさせていたことなどが深く関わっています。また琉球の独特な気候風土も影響し、職人の技に磨きをかけてきました。



◇木綿緋色地鶴に松皮菱流水菊文様緋両面紅型袴衣裳

「もよう」や「技」に秘められた作品との対話

企画展「琉球王国のもよう～王国の技～」では、数百年前から存在する歴史的価値の高い作品から、様々な調査・研究をもとに復元された作品など、琉球王国の逸品をご紹介します。時代を行き来する作品には次世代に受け継ぐ人々の姿や、作品に込められた作り手の思いなど、奥深い魅力があります。

「もよう」や「技」に秘められた背景を感じ、作品との対話をぜひお楽しみください。

首里城公園企画展

琉球王国のもよう～王国の技～

【黄金御殿特別展示室】

2018年 2月23日(金)～4月19日(木)

【南殿二階特別展示室】

2018年 3月1日(木)～4月12日(木)



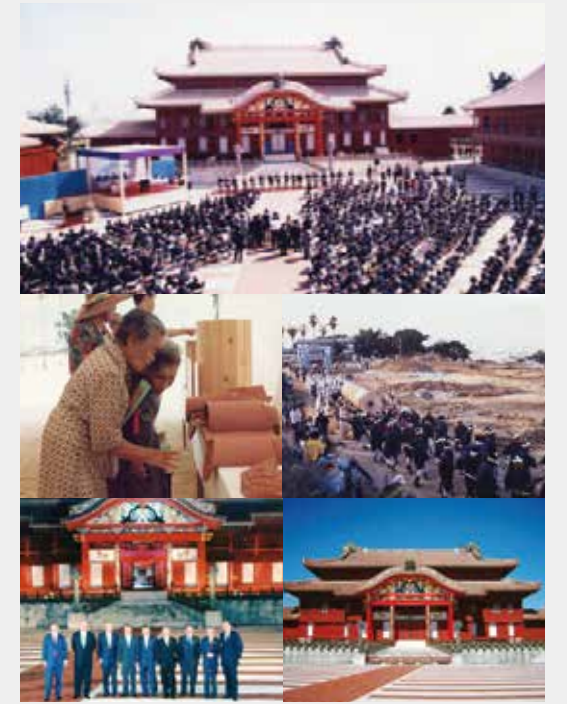
首里城公園 開園25周年のあゆみ パネル展

首里城復元から現在までをふりかえる

ただいま首里城公園では「開園25周年のあゆみパネル展」を開催しております。復元整備(工事)の状況から平成4年11月の開園式典の様子、平成12(2000)年の世界遺産認定や九州・沖縄サミット開催など、首里城復元から現在までをパネルでご紹介しております。この機会にぜひご覧ください。

2018年1月1日(月・祝日)～ 3月31日(土)

場 所 / 首里城公園 南殿(有料区域)
料 金 / 無 料 ※要入館料



首里城公園開園 25 周年記念期間限定メニュー

首里杜御膳

すいむいごぜん 1600円(税込)

豚肉や昆布など代表的な琉球料理の中から、12品の小鉢を集めました。見た目も味も上品な、特製御膳は女性にも大人気です。この機会をお見逃しなく！(3月31日(土)まで)

レストラン「首里杜」

場 所：首里杜館1階

営業時間：10:00～17:00(ラストオーダー16:30)

- | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. ジーマーミ豆腐(ビーナッツの豆腐) | 5. ミヌダル(豚肉の胡麻だれ蒸し焼き) | 9. タウチャーチャウ(鶏のとさかを模った琉球菓子) |
| 2. クーブイリチー(昆布の炒め煮) | 6. ミミガーの酢味噌和え(豚耳皮の和え物) | 10. 花しんすうの吸い物(花を模った薄焼きたまごの汁物) |
| 3. ターンムのから揚げ(田芋の素揚げ) | 7. ピラガラマチ(カマボコを青ネギで巻いた琉球料理) | 11. 赤マーミごはん(小豆のご飯) |
| 4. 沖縄野菜の胡麻和え(旬の沖縄産野菜の胡麻和え) | 8. スーチカー(豚肉の塩漬け) | 12. スヌイの酢の物(もずくの酢の物) |



1日30食限定!

平成29年度

首里城祭 国王・王妃の紹介

平成29年度首里城祭国王・王妃に選出され、これまでに「古式行列」「冊封儀式」「琉球王朝絵巻行列」「新春の宴」にご出演いただきました。出演を終えた二人に感想をお聞きました!

国王 / 津波 竜斗(つはりゅうと)さん

毎回多くの方々に参加させて頂き、凄く経験をさせて頂いているなど感じております。県外海外にも沖縄・首里城の歴史や、先人が築いてきた沖縄の強さや美しさをもっと発信していきたいと思っております。

王妃 / 比嘉 一夏(ひが いちか)さん

華やかな衣裳を着たり、髪を結ったりと、とても貴重な経験をさせていただき歴史ある沖縄がもっと好きになりました。今後も琉球・沖縄の文化を大切にしていきたいです!

平成30年度首里城祭国王・王妃は夏頃に一般公募する予定です。
詳細は首里城公園ホームページ、フェイスブック等でご案内いたします。



“琉球の宝”を次の世代へ 首里城公園友の会とイヌマキ(チャーギ)育樹祭

県民待望の首里城が復元され開園25周年を迎えました。琉球王国最大の木造建築物である首里城正殿の建築にはイヌマキが必要でしたが、復元の際沖縄で調達できるイヌマキは1本もありませんでした。そこで、首里城公園友の会では、100年後、200年後の首里城を大規模に修復することを予想し、平成5年に国頭村辺野喜にイヌマキ(チャーギ)の植樹を行いました。平成15年度からは、将来の首里城の修理材として「大きく育て」との願いを込めて、育樹祭(手入れ)を行っています。作業には、下草刈、肥料まき、枝打ち、樹木の計測などがあります。今年は、2月25日(日)に育樹祭を開催しますので、ぜひご参加ください。“琉球の宝”を後世に残すため、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



国頭村辺野喜の地に、約1,200本のイヌマキが育っています。



子供たちも肥料まきに大活躍。



イヌマキ1本1本に名札の取り付け。



鎌倉覚園寺境内にあるイヌマキ(樹高18m、胸高周囲4.1m、伝承によると樹齢800年といわれている古木である)地上から5mでいくつかの太い枝に分岐し、四方に広がり、枝葉もよく茂り優れた風格の木である。鎌倉市の天然記念物指定。<写真提供:鎌倉覚園寺>

～イヌマキ(チャーギ)豆知識～

マキ科の常緑高木で、高さ20m、直径はまれに1.2mほどになります。琉球方言では、チャーギ、キャンギなどと呼ばれています。本州房総半島以西、九州、沖縄、台湾、中国南部に分布し、材は堅く、水や白蟻など害虫に強いため、沖縄では17世紀ごろより松とともに王府の2大重要樹種として、その保護・育成が図られてきました。おもに松は造船用材に、イヌマキは建築用材として使用されています。

イヌマキ(チャーギ)育樹祭

開催日: 2018年2月25日(日)
集合時間: 8時(8時30分出発 17時30分帰着予定)
集合場所: 首里城公園管理センター
参加費: 1500円(お弁当込み/定員70名程度)※貸切バス利用
申込先: 首里城公園友の会事務局 TEL:098-886-2020
※ 育樹祭終了後は、宜野座村にて「イチゴ狩り」を予定しております。(各自負担)
※ 詳細は首里城公園HPをご確認ください。

首里城公園友の会

会員募集中

琉球の文化を後世に残したい

首里城公園友の会は、首里城公園の質的充実と愛護、育成の諸事業を実施し、併せて会員相互の親睦を図ることを目的として設立されました。

【年会費】個人会員2,000円 / 法人会員10,000円
【入会方法】事務局までお問い合わせ下さい。TEL:098-886-2020

会員特典

1. 首里城公園の優待入場(無料入館券2枚(法人10枚)・会員証提示にて団体割引)
2. 友の会主催の講演会・見学会・史跡巡見等への参加
3. 友の会「会報」等の配布
4. 首里城公園オリジナルグッズの割引

友の会2月,3月イベント情報

1 史跡巡見南部コース～与那原・南城市大里～
講師: 大城秀子氏(元南城市教育委員会文化課長)
参加費: 3000円程度 / 定員: 25名程度

2 首里城周辺めぐり「百人御物参」見学と解説(予定)
講師: 新里涼子氏(韓国建地域計画部)
参加費: 首里城公園入館料 / 定員: 20名程度

3 首里城で古琉球のものしか見ないツアー
講師: 上里隆史氏(歴史家)
参加費: 100円程度 / 定員: 20名程度
※ 詳しくはHPでご案内いたします。

首里城コラム Column



① 行政空間 ② 生活・儀礼空間 ③ 祭祀空間

琉球王国の政治、外交、文化の中心として威容を誇った首里城。城内にはその役割から大きく三つの空間が存在することをご存知ですか。
まず、正殿一階や南殿・番所、北殿書院・鎖之間など、御庭とよばれる正殿前の広場を中心に王国の政治や外交が行われた「行政空間」。
次に、御内原(おうちばら)と呼ばれる男子禁制のエリアで、国王やその家族、女官や神女が生活し、王妃を頂点とする女官組織が祭祀儀礼を行った「生活・儀礼の空間」。
そして、重要な御嶽が点在し城内で最も神聖なエリア【京の内】のある

「祭祀空間」です。
首里城内の行政・生活・祭祀といった三つの空間は王国の縮図であり、琉球王国を司る重要な空間といえます。なかでも、城内にある御嶽への巡拝や信仰の儀式は首里城を物語る上で欠かせないものです。
往時、城内で神女らにより執り行われていた祭祀儀礼「百人御物参(ももそおもものまいり)」が、3月3日(土)・4日(日)首里城公園で再現されます。
御内原とよばれる「内」の世界から神女が登場し、表の世界として城内最大の聖域「首里森御嶽」「京の内」へと巡拝する流れには、琉球が持つ独特の世界観、首里城の奥深さを感じられることでしょう。
華やかな首里城の再現儀式とは趣を異にした、祭祀儀礼「百人御物参」をぜひお楽しみください。



琉球を司る三つの空間 ～王国の箱舟～

連携イベント



琉球王国のお正月が沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)にやってくる!

沖縄では新暦のお正月と同じくらい大事にされている「旧正月」。旧正月をおきみゅーでお祝いし、沖縄の正月文化について理解を深めましょう!



新年の幕開けを華やかに彩る、王国の装飾品。

正月のお飾り展示

2018年 2月16日(金)・17日(土)・18日(日)

場所 / 沖縄県立博物館・美術館 エントランス
料金 / 無料



首里城正殿二階の画簾(かづりん)



御玉貫(うたますぎ)や金杯などの酒器

首里城のスタッフが、琉球王国のお正月を解説。

首里城のお正月

2018年 2月18日(日)

時間 / 11:00～12:00 (開場 10:30)
場所 / 沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室
講師 / 首里城公園 学芸員
定員 / 当日先着 100名 料金 / 無料



※ 詳しくは、沖縄県立博物館・美術館で検索